

研究業績

(* は査読付論文を示す)

著書(単著)

1. Xinxin Ma, *Economic Transition and Labor Market Reform in China*, Palgrave Macmillan, 2019 (forthcoming).
2. 馬欣欣『中国の公的医療保険制度の改革』、京都大学学術出版会、2015 年 11 月。
3. 馬欣欣『中国女性の就業行動—「市場化」と都市労働市場の変容』、慶應義塾大学出版会、2011 年 3 月。

著書(共著)

1. 袁堂軍・馬欣欣 共編著『日本社会保障制度:対中国的啓示』(『日本社会保障制度:対中国的啓示』)、2019 年(出版予定)(中国語)
2. 伏見俊行・馬欣欣 共著『税と社会貢献』、ぎょうせい、2014 年 6 月。

学術論文(単著)

1. * Ma, X. “Multidimensional Poverty and its Impact on Maternal Well-being in Japan” *Quality life of Japan*, Springer, 2019(forthcoming).
2. * Ma, X. “Ownership Sector Segmentation and Gender Wage Gap in Urban China during the 2000s” *Post-Communist Economies*, 2018 (forthcoming).
3. * Ma, X. “Labor Market Segmentation by Industry Sectors and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in Urban China” *China Economic Review*, 47, January 2018, pp.96-115.
<https://doi.org/10.1016/j.chieco.2017.11.007>

4. *馬欣欣「中国城鎮自雇者就業機制分析—是陰性失業還是自主創新」『世界經濟文匯』World Economic Papers、2017 年第 1 期、pp.205—233、2017 年 12 月(中国語)
5. 「中国移転価格税制の新動向」『月刊税理』、第 60 卷第 15 号、2017 年 12 月、pp.190-196。
6. * Ma, X. “Labour Market Segmentation by Ownership Types and Gender Wage Gap in Urban China: Evidence from CHIP2013” *Economic and Political Studies*, 5 (3) ,July 2017, pp. 305-325.
<https://doi.org/10.1080/20954816.2017.1345167>
7. 馬欣欣「なぜ正規・非正規雇用者間の賃金格差が生じるのか」『非正規雇用の待遇差解消に向けて』第 2 章、労働政策研究・研究機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2017 年 7 月、pp.62-97。
8. 馬欣欣「中高年齢者における NPO 活動の継続意欲の決定要因分析」、『人口減少社会における高年齢者雇用』第 6 章、労働政策研究・研究機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2017 年 3 月、pp.230-270。
9. * Ma, X. “Economic Transition and the Determinants of Self-employment in Urban China: 2007–2013,” *Journal of Chinese Economic and Business Studies*, 14(3), October 2016, pp279-307.
<http://dx.doi.org/10.1080/14765284.2016.1219297>
10. Ma, X. “Public Medical Insurance System Reform and the Determinants of Participation to the Medical Insurance Systems in the Aging China,” *Journal of Population Problems* (『人口問題研究』国立社会保障・人口問題研究所), 72 (3), September 2016, pp. 236-255.
11. * Ma, X. “Business Start-Up or Disguised Unemployment? Evidence on the Determinants of Self-employment from Urban China,” *Chinese Studies*, 5, August 2016, pp.73-87. <http://dx.doi.org/10.4236/chnstd.2016.53009>
12. *Ma, X. “Impacts of Minimum Wage Policy on Wage Distributions in Urban China: Comparison between Public and Private Sectors,” *Chinese Studies*, 5,

August 2016, pp.45-61. <http://dx.doi.org/10.4236/chnstd.2016.53006>

13. * Ma, X. “Determinants of the Wage Gap between Migrants and Local Urban Residents in China: 2002-2013,” *Modern Economy*, 7, July 2016, pp.786-798.
<http://dx.doi.org/10.4236/me.2016.77081>
14. 馬欣欣「台湾の税制」、『アジア税の基礎知識:税と国際貢献—アジアで貢献する日本企業—』、伏見俊行(編著)、税務研究会出版局、第2部第11章、2016年6月、pp.379—395。
15. *. Ma, X. “Changes of Wage Structures in Chinese Public and Private Sectors: 1995-2007,” *Management Studies*, 4(6), May 2016, pp.243-255.
<http://dx.doi.org/10.17265/2328-2185/2016.06.00>
16. * Ma, X. “The Effects of New Cooperation Medicine Scheme on the Utilization of Health Care Service in Rural China,” *Journal of Statistical Science and Application*, 4(5-6), May 2016, pp.119-131.
[doi: 10.17265/2328-224X/2016.0506.001](http://dx.doi.org/10.17265/2328-224X/2016.0506.001)
17. 馬欣欣「中国における所得格差と主観的幸福度」、『二重の罟を超えて進む中国型資本主義』、加藤弘之・梶谷懐(編著)、ミネルヴァ書房、第12章、2016年3月、pp.248—263。
18. * Ma, X. “Economic Transition and Wage Differentials between Public and Private Sectors in China,” *China-USA Business Review*, 14(10), October 2015, pp.477-494.
[doi: 10.17265/1537-1514/2015.10.001](http://dx.doi.org/10.17265/1537-1514/2015.10.001)
19. 馬欣欣「中国における賃金政策と制度の新動向および制度実施の効果」、『経営者育成の経営学』、平野文彦(編著)、桜門書房、第VI部、2015年4月、pp.251—264。
20. *馬欣欣「中国都市戸籍住民における医療保険の加入行動の要因分析—医療保険加入の類型およびその選択の決定要因」、『アジア経済』、第55巻第2号、2014年6月、pp. 62-94。
21. 馬欣欣「賃金政策—体制移行と部門間賃金格差」、『中国経済はどう変わったか—改革開放以後の経済制度と政策を評価する』、中兼和津次(編著)、国際書院、第13

- 章、2014 年 2 月、pp. 419-457。
22. 馬欣欣「高齢者におけるボランティア供給の決定要因に関する実証分析」、『日本労働研究雑誌』、第 643 号、2014 年 1 月、pp. 70-80。
23. *馬欣欣「中国都市部における出稼ぎ労働者と都市戸籍住民間の賃金格差—業種間格差と業種内格差の影響について」、『アジア研究』、第 58 巻第 3 期、2012 年 12 月、pp. 52-71。
24. 馬欣欣「中国労働市場の多重構造と『ルイスの転換点』」、『変貌する中国経済と日系企業の役割』、渡辺利夫+21 世紀政策研究所（監修）/大橋英夫（編著）、勁草書房、第 2 章、2012 年 7 月、pp. 26-55。
25. *馬欣欣「労働力市場的産業分割—關於壟断行業与競争行業間工資差距的經驗分析」、『中国労働経済学』、第 7 巻第 1 期、2012 年 6 月、pp. 44-82。（中国語）
26. 馬欣欣「地震保険加入と震災前後の家計消費の変化—消費保険仮説の再検証」、『日本の家計行動のダイナミズム—東日本大震災が家計に与える影響』、瀬古美喜・照山博司・山本勲・樋口美雄等（編）、慶應義塾大学出版会、第 5 章、2012 年 6 月、pp.155－181。
27. 馬欣欣「世帯主の就業形態と有子現役世帯の貧困の動態分析—二人世帯と一人世帯の比較」、『パネルデータによる政策評価分析（3）親子関係と家計行動のダイナミズム—財政危機下の教育・健康・就業』、樋口美雄・宮内環・C.R.McKenzie・慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター（編）、慶應義塾大学出版会、第 8 章、2012 年 6 月、pp.161－181。
28. 馬欣欣「中国官僚の汚職と愛人」、「中国の酒文化と税制」、『中国経済入門』、南亮進・牧野文夫編著、日本評論社、2012 年 3 月、p. 31、p. 70。
29. 馬欣欣「中国における労働市場の多重構造とルイスの転換点」、『中国経済研究』、第 8 巻第 2 号、2011 年 9 月、pp. 36-42。
30. 馬欣欣「給与所得水準とその変化が雇用者の仕事満足度に与える影響」、『パネルデータによる政策評価分析（2）教育・健康と貧困のダイナミズム—所得格差に与える税社会保障制度の効果』、樋口美雄・宮内環・C.R.McKenzie・慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター（編）、慶應義塾大学出版会、第 10 章、2011 年 6 月、pp.203－226。

31. *馬欣欣「中国労働力市場的産業分割—關於壟断行業与競争行業間工資差異的經驗分析」『中国労働経済学』、2011 年 1 月、pp.44-82.
32. *馬欣欣「中国における労働移動と都市労働市場の分断化:出稼ぎ労働者・都市戸籍住民間の所得格差に関する実証分析」、『比較経済研究』、第 48 巻第 1 号、2011 年 1 月、pp. 39-55。
33. 馬欣欣「人口、労働市場の構造変化—ルイス転換点と「民工荒」」、『経済セミナー』(日本評論社編)、第 655 号、2010 年 8-9 月、pp. 32-37。
34. 馬欣欣「景気変動と家計消費の変動—日本の家計消費は平滑化しているか」、『日本の家計行動のダイナミズVI—経済危機下の家計行動の変容』、瀬古美喜・樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第 6 章、2010 年 6 月、pp.139-164。
35. 馬欣欣「中国における労働力移動と農民工の子供教育の問題に関する実証分析」、『中国労働市場の新たな展開』、(財団法人)国際貿易投資研究所(編)、2010 年 4 月、pp. 78-81。
36. *馬欣欣「賃金分布からみた男女間賃金格差に関する日中比較」、『三田商学研究』、第 52 巻 6 号、2010 年 2 月、pp. 69-87。
37. *馬欣欣「中国都市部における既婚女性の労働供給の規定要因—1995 年、2002 年中国都市家計調査に基づいて」、『アジア研究』、第 55 巻第 3 号、2009 年 7 月、pp. 35-54。
38. *馬欣欣「中国の都市部における男女間賃金格差の変化およびその規定要因—1995 年、2002 年都市家計調査の個票データによる実証分析—」、『アジア経済』、第 50 巻第 7 号、2009 年 7 月、pp. 2-25。
39. Ma, X. “Occupational Career Types of Baby-Boomers and Their Effects on Employment Pattern Selection,” *The Japanese Economy*, 35(4), June 2009, pp. 64-106.
<http://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.2753/JES1097-203X350403?needAccess=true>

40. 馬欣欣「長時間労働は労働者のメンタルヘルス問題をもたらすか」、『日本の家計行動のダイナミズムⅤ—労働市場の高質化と就業行動』、樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第5章、2009年6月、pp.105-145。
41. *馬欣欣「市場経済期の中国における企業所有制別賃金構造の変化：1995～2002」、『中国経済研究』、第6巻第1号、2009年3月、pp. 47-63。
42. *馬欣欣「日本におけるガラスに天井は存在するか—賃金分布からみた男女間賃金格差」、『日本労務学会誌』、第11巻第1号、2009年1月、pp. 18-31。
43. *馬欣欣「正規と非正規の就業形態およびその賃金格差の要因に関する日中比較(下)」、『大原社会問題研究所雑誌』、第602号、2009年1月、pp. 86-98。
44. *馬欣欣「正規と非正規の就業形態およびその賃金格差の要因に関する日中比較(上)」、『大原社会問題研究所雑誌』、第601号、2008年12月、pp. 17-28。
45. *馬欣欣「農村—都市間の労働力移動と中国の都市部における賃金格差—都市部における労働力市場の分断化に関する実証分析(下)」、『大原社会問題研究所雑誌』第592号、2008年3月、pp. 62-72。
46. *馬欣欣「農村—都市間の労働力移動と中国の都市部における賃金格差—都市部における労働力市場の分断化に関する実証分析(上)」、『大原社会問題研究所雑誌』、第591号、2008年2月、pp. 39-51。
47. 馬欣欣「中国における雇用調整と再就職後の賃金の男女格差」、『日本労働研究雑誌』、第571号、2008年1月、pp. 104-119。
48. 馬欣欣「『団塊の世代』の職業キャリアのタイプとその就業形態の選択に与える影響」、『日本労働研究雑誌』、第569号、2007年12月、pp. 43-60。
49. *馬欣欣「性別職業分離と男女間賃金格差の日中比較—日本と中国の家計調査のマイクロデータを用いた実証分析」、『中国経済研究』、第4巻第1号、2007年9月、pp. 15-36。
50. 馬欣欣「世帯の生活時間と生活格差」、『日本の家計行動のダイナミズムⅢ—経済格差変動の実態・要因・影響』、樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第7章、2007年6月、

pp.193－222。

51. 馬欣欣「人材育成の日中比較—職業教育訓練の実施状況の日中比較」、『産業訓練』、第 53 巻第 617 号、2007 年 4 月、pp. 22-28。
52. 馬欣欣「日中における男女間賃金格差の差異に関する要因分解」、『日本労働研究雑誌』、第 560 号、2007 年 1 月、pp. 96-107。
53. 馬欣欣「現代の中国企業における賃金制度の概要と特徴」、『労務研究』、第 59 巻第 700 号、2006 年 10 月、pp. 19-26。

学術論文(共著)

1. 馬欣欣・李実「最低工資制度对中国城鎮工資分配的影嚮」李実・岳希明・史泰麗・佐藤宏等著『中国收入分配格局的最新变化』中国財政經濟出版社、2017 年 12 月（中国語）、pp.523-555。
2. Ma,X. and X. Piao “Income, Intra-household Bargaining Power and the Happiness of Japanese Married Women” *Quality life of Japan*, Springer, 2019. (forthcoming)
3. * Ma, X. and C. Zhang “Higher Education Expansion and Return to Education in China: Evidence from CGSS2005 and CGSS2013” *International Journal of Financial Research*, 8(3), July 2017, pp 85-104.
<https://doi.org/10.5430/ijfr.v8n3p85>
4. * Ma, X. and Y. Cen “Public Health Insurance System Reform and Its Impact on Health Care Service Utilization in Rural China,” *China Studies*, 6, June 2017, pp.85-107. <https://doi.org/10.4236/chnstd.2017.62009>
5. *馬欣欣・乾友彦・児玉直美「管理職における男女間格差—日本の従業員と企業のマッチングデータに基づく実証分析—」『経済研究』第 68 巻第 2 号、pp.114-131、2017 年 4 月。
6. * Ma, X, and Deng, Q. “Economic Transition and Self-employment of Migrants in Urban China,” *Journal of Chinese Economic Studies* (『中国經濟研究』), 13(1), May 2016, pp. 78-92.

7. *Li, S. and Ma, X. “Impact of Minimum Wage on Gender Wage Gaps in Urban China,” *IZA Journal of Labor and development*, (2015) 4:20, October 2015.
DOI 10.1186/s40175-015-0044-4
8. *大沢真知子・馬欣欣「高学歴女性の学卒時のキャリア意識と転職行動—「逆選択」はおきているのか」『現在女性とキャリア』第7号、2015年7月、pp.87-107。
9. 南亮進・馬欣欣「中国労働市場的变化和劉易斯転換点」、『中国経済的転換点：与東亜的比較』、南亮進・牧野文夫・郝仁平（編著）、社会科学文献出版会、第4章、2014年8月、pp. 68-94。（中国語）
10. 南亮進・薛進軍・馬欣欣「人口・労働力—戦後期の人口・労働力」、『アジア長期経済統計3 中国』、南亮進・牧野文夫（編著）、東洋経済新報社、第2章、2014年7月、pp. 62-77。
11. Minami, R. and Ma, X. “Labor Market and Lewisian Turning Point in China,” *Lewisian Turning Point in the Chinese Economy*, Roshin Minami, Fumio Makino and Kwans Kim (eds.) Palgrave Macmillan, Chapter 5, July 2014, pp. 76-100.
<http://www.palgrave.com/br/book/9781137397256>
12. * Ma, X. and Ono, A. “Determining Factors in Middle-Aged and Older Person’s Participation in Volunteer Activity and Willingness to Participate,” *Japan Labor Review*, 10 (4), October 2013, pp. 90-119. DOI:10.1080/17538963.2010.511912
13. 南亮進・馬欣欣「中国労働市場の変貌と転換点」、『中国経済の転換点』第4章、南亮進・牧野文夫・郝仁平（編著）、東洋経済新報社、2013年3月、pp. 64-90。
14. 南亮進・馬欣欣「中国経済的転折点—与日本的比較」、『中国労働経済学』、2010年第6巻第1号、2010年11月、pp. 80-109。（中国語）
15. * Minami, R. and Ma, X. “The Lewisian Turning Point of Chinese Economy: Comparison with Japanese Experience,” *China Economic Journal*, 3(2), July 2010, pp. 165-181. DOI:10.1080/17538963.2010.511912

16. *南亮進・馬欣欣「中国経済の転換点：日本との比較」、『アジア経済』、第 50 巻第 12 号、2009 年 12 月、pp. 2-20。
17. 佐藤一磨・馬欣欣(2008)「育児休業法の改正が女性の継続就業に及ぼす影響」、『日本の家計行動のダイナミズムⅣ—制度の変更と就業行動』、樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第 5 章、2008 年 6 月、pp.119-139。
18. 四方理人・馬欣欣「90 年代における両立支援施策は有配偶女性の就業を促進したか」、『日本の家計行動のダイナミズムⅡ—税制改革と家計の対応』、樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第 7 章、2006 年 6 月、pp.169-190。
19. *李実・馬欣欣「中国城鎮職工的性別工資差異与職業分割的經驗分析」、『中国人口科学』、2006 年第 5 期、2006 年 1 月、pp. 2-14。(中国語)
20. 戸田淳仁・馬欣欣「若年時の転職がその後の賃金に及ぼす影響」、『日本の家計行動のダイナミズムⅠ—慶應義塾家計パネル調査の特性と居住・就業・賃金分析』、樋口美雄等(編)、慶應義塾大学出版会、第 6 章、2005 年 6 月、pp.163-179。

その他(ワーキング・ペーパー・書評・報告書論文など)

1. Deng, Q. and Ma, X. “The Dynamics of Informal Employment in China ” Center for Economic Institutions Working Paper Series No.2018-2, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University. May2018.
2. 馬欣欣「中国の所得格差をどう見るか」『三田評論』No.1212、2017 年 6 月、p.9。
3. Inui,T., Ito, Y., Kawakami,A, Ma, X., Nagashima, M, and Zhao, M. “Empirical Study on the Utilization and Effects of Health Checkups in Japan” RIETI Discussion Paper Series 17-E-082, May 2017.
4. 馬欣欣「多次元貧困の決定要因およびその子育て女性の well-being に与える影響—母子世帯と二人親世帯の比較—」『子育て世帯のディストレス』JILPT 労働政策研究報告書 No.189、(独立行政法人)労働政策研究・研究機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2017 年 3 月、pp.22-54。
5. 馬欣欣「中高年齢者における NPO 活動の継続意欲の決定要因分析」、『労働力不足時代に

- おける高年齢者雇用』JILPT 労働政策研究報告書 No.186、(独立行政法人)労働政策研究・研究機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2016 年 11 月、pp.247-282。
6. Ma, X. and Li, S. “Minimum Wage and Income Inequality in Urban China: Evidences from CHIPs Data,” 工作論文、北京師範大学収入分配研究センター、May2016.
 7. Ma, X. and Li, S. “Economic Transition and the Determinants of Self-employment in Urban China: 2007-2013,” Center for Economic Institutions Working Paper Series, No.2016-3, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University. May 2016.
 8. Ma, X. and Li, S. “Industrial Segregation and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in China” Center for Economic Institutions Working Paper Series No.2016-4, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University. May2016.
 9. 馬欣欣「NPO 法人職員の賃金構造およびその満足度、活動継続意欲に及ぼす影響」、『NPO の就労に関する研究—恒常的成長と震災を機とした変化を捉える—』JILPT 労働政策研究報告書 No.183、(独立行政法人)労働政策研究・研究機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2016 年6月、pp.54-97。
 10. 馬欣欣・乾友彦「正規社員が管理職になる決定要因およびその男女間の格差—従業員と企業のマッチングデータに基づく実証分析—」RIETI Discussion Paper Series 16-J-015、2016 年 3 月
 11. Ma, X. and Li, S. “Impact of Minimum Wage on Gender Wage Gaps in Urban China,” working paper, Income Distribution Research School, Beijing Normal University, July2015.
 12. 馬欣欣「母親の不本意就業とそのウェルビーイングに与える影響」、『子育て世帯のウェルビーイング—母親と子どもを中心に—』JILPT 資料シリーズ No.146、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2015 年 4 月、pp. 68-99。

13. 馬欣欣・李実「关于最低工資制度对中国城鎮男女工資差距影響的実証分析」工作論文、北京師範大学收入分配研究センター、2014 年 10 月（中国語）
14. 馬欣欣「中国都市戸籍住民における年金・医療保険の加入と主観的幸福度」、国立社会保障・人口問題研究所編『東アジア低出生力国における人口高齢化の 展望と対策に関する国際比較研究 平成 25 年度 総括研究報告書』、2014 年 4 月、pp. 29－62。
15. 馬欣欣「母親の就業状況が子どもの outcomes に及ぼす影響」、『子育てと仕事の狭間にいる女性たち—JILPT 子育て世帯全国調査 2011 の再分析—』JILPT 労働政策研究報告書 No.159、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2013 年 4 月、pp.79－106。
16. 馬欣欣「職業能力開発支援政策とシングルマザーの就業行動—専門資格取得の影響について—」、『シングルマザーの就業と経済的自立』、JILPT 労働政策研究報告書 No.140、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2012 年 4 月、pp.118－148。
17. 馬欣欣「高齢者が社会活動に参加する決定要因—ボランティア供給を中心に」、『高齢者の社会貢献活動に関する研究—定量的分析と定性的分析から』JILPT 労働政策研究報告書 No.142、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2012 年 4 月、pp.39－72。
18. 馬欣欣「賃金政策および制度の変遷とその評価」中兼和津次編著『WICCS シリーズ 4 改革開放以後の経済制度・政策の変遷とその評価』早稲田大学現代中国研究所、2011 年 11 月、pp. 139-164。
19. 馬欣欣「書評『中国労働市場のジェンダー分析—経済・社会システムからみる都市部就業者』」、『中国研究月報』、65(6)、2011 年 6 月、pp. 32-34。
20. 馬欣欣「高齢者の仕事満足度の決定要因およびその離職意欲に与える影響」、『高齢者の就業実態に関する研究』JILPT 労働政策研究報告書 No.137、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2011 年 4 月、pp.48－74。
21. 馬欣欣「教育訓練が高齢者の給与所得および労働供給に与える影響」(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)『高齢者の就業実態に関する研究』JILPT 労働政策研究報告書

- No.137、2011 年 4 月、pp.75－108。
22. 馬欣欣・藤井宏一(2010)「同一職種内の男女間賃金格差に関する実証分析」、『男女間賃金格差の経済分析』JILPT 資料シリーズ No.7、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2010 年 8 月、pp.92－139。
23. 清家篤・馬欣欣(2010)「企業における高齢者雇用の年齢制限の決定要因—年功賃金の影響を含む実証分析」、『継続雇用等をめぐる高齢者就業の現状と課題』JILPT 労働政策研究報告書 No.120、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2010 年 4 月、pp.23－65。
24. 馬欣欣「60 歳代高齢者における就業形態の選択の決定要因—職業経歴の要因を含む実証分析」、『継続雇用等をめぐる高齢者就業の現状と課題』JILPT 労働政策研究報告書 No.12、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2010 年 4 月、pp.169－219。
25. 馬欣欣「書評『農村から都市へ:1 億 3000 万人の農民大移動』」『人口学研究』第 45 号、2009 年 11 月、pp. 78-81。
26. Minami, R. and Ma, X. “The Turning Point of Chinese Economy: Compared with Japanese Experience,” ADBI Discussion Paper, August 2009.
27. 馬欣欣「中国における農村—都市間の労働力移動と都市部のインフォーマル・セクター」財務省財務総合政策研究所、Discussion Paper Series No.09A-01、2009 年 1 月。
28. 馬欣欣「中国の出稼ぎ労働者における就業形態およびその賃金格差—2002 年中国出稼ぎ労働者調査の個票を用いた実証分析」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2008-015、2008 年 12 月。
29. 馬欣欣「賃金分布からみた男女間賃金格差に関する日中比較—ガラスの天井か、粘着の床か」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2008-014、2008 年 12 月。
30. 馬欣欣・李実「中国都市部における Matthew Effect の検証—親子 2 世代間の所得の移動に関する実証分析」、財務省財務総合政策研究所、Discussion Paper Series No.08A-02, 2008 年 4 月。

31. 清家篤・馬欣欣「男性高齢者の就業決定の規定要因とその変化：1980～2004」、『高齢者の就業実態に関する研究—高齢者の就労促進に関する研究中間報告』JILPT 労働政策研究報告書 No.100、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、pp.16-65、2008 年 4 月。
32. 馬欣欣「正規と非正規間の賃金格差の要因に関する日中比較」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2007-019, 2007 年 12 月。
33. 馬欣欣「中国における企業所有制の改革と賃金構造の変化—企業所有制別の賃金プロファイルの男女比較」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2007-018, 2007 年 12 月。
34. 馬欣欣「市場経済期に中国都市部における既婚女性の労働供給の規定要因」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2007-017, 2007 年 12 月。
35. 馬欣欣「人的資本が中国都市部の所得格差に与える影響：1988～2002」、財務省財務総合政策研究所 Discussion Paper Series No.07A-15、2007 年 10 月。
36. 馬欣欣「農村—都市の労働力流動と中国の都市部における賃金格差—都市部の労働市場の分断化に関する実証分析」、財務省財務総合政策研究所、Discussion Paper Series No.07A-08、2007 年 6 月。
37. 馬欣欣「『団塊の世代』の職業キャリアのタイプと就業形態の選択」、『団塊の世代の就業と生活に関する調査研究報告—団塊の世代の就業と生活ビジョン調査データ分析』JILPT 労働政策研究報告書 No.85、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2007 年 4 月、pp.30-57。
38. 清家篤・南雲智映・馬欣欣「過去の職業経験と就業意欲」、『団塊の世代の就業と生活に関する調査研究報告—団塊の世代の就業と生活ビジョン調査データ分析』JILPT 労働政策研究報告書 No.85、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構(編)、労働政策研究・研修機構出版、2007 年 4 月、pp.88-116。
39. 馬欣欣「職業が男女間賃金格差に及ぼす影響の中日比較」、KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2005-011、2005 年 12 月。

40. 馬欣欣「職業が中国都市部における男女間賃金格差に及ぼす影響—Brown モデルによる職業の全要因分解」, KUMQRP DISCUSSION PAPER SERIES DP2005-012、2005 年 12 月。

新聞・記事等

1. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(1)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 1 月 4 日、(財団法人)大蔵財務協会。
2. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(3)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 1 月 25 日、(財団法人)大蔵財務協会。
3. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(5)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 2 月 1 日、(財団法人)大蔵財務協会。
4. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(8)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 2 月 22 日、(財団法人)大蔵財務協会。
5. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(11)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 3 月 15 日、(財団法人)大蔵財務協会。
6. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(12)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 3 月 12 日、(財団法人)大蔵財務協会。
7. 馬欣欣「中国税の散歩道—中国の税の歴史を巡る旅(13)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 4 月 5 日、(財団法人)大蔵財務協会。
8. 馬欣欣「中国税の散歩道—税を取り巻く最近の話題(1)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 5 月 3 日、(財団法人)大蔵財務協会。
9. 姜莉・楊華・馬欣欣「中国税の散歩道—税を取り巻く最近の話題(最終回)」、『週刊税のしるべ』、2010 年 8 月 2 日、(財団法人)大蔵財務協会。

学会報告・講演会等

1. Ma.X. “The Impact of Public Pension System on labor Supply in China,” International Workshop “Pension Reform in PRC”, 中国社会科学院人口と労働経済研究所、中国、北京、2017 年 12 月 8 日
2. Ma. X. “The Impact of New Rural Pension Scheme on labor Supply in China,” 2017 年度中国経済経営学会全国大会、桃山学院大学、大阪、2017 年 11 月 12 日
3. Ma. X. “Public Pension System and Elderly Labor Participation: A Comparison between Japan and China ” 一橋大学・中国人民大学第 7 回アジア政策フォーラム “高齢化社会への対応”、一橋大学、東京、2017 年 11 月 10 日
4. Ma. X. “Empirical Study on the Utilization and Effects of Health Checkups in Japan,” 2017 年日本経済学会秋季大会、青山学院大学、2017 年 9 月 9 日
5. Ma, X. “Women’s Career Aspirations and Job Turnover among Higher Educated Women in Japan,” 2017 Asian Studies Conference in Japan (ASCJ), Rikko University, Tokyo, Japan, July 9th, 2017
6. Ma, X. “The Effects of Minimum Wage on Wage Distribution in Urban China,” 2017 年度中国経済経営学会春季大会、愛知大学、名古屋、2017 年 7 月 1 日
7. Ma, X. “The Effects of Minimum Wage on Wage Distribution in Urban China,” 2017 年度アジア政経学会秋季全国大会、一橋大学、東京、2017 年 6 月 25 日
8. Ma, X. “The Effects of Minimum Wage on Wage Distribution in Urban China,” Second World Congress of Comparative Economics, National Research University Higher School of Economics in St. Petersburg, Russia, June 15th, 2017.
9. Ma, X. “Domestic Migration and Discrimination against Migrants in China,” International Seminar Domestic and International Migration in Eastern Asian Aging Countries, National Institute of Population and Social Security Research, Tokyo, Japan, December 16, 2016.

10. Ma, X. “Labor Market Segregation by Industry Sectors and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in China,” International Workshop on “Economic Transition and System Reform in China: Evidence from Micro-data Analysis”, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Tokyo, Japan, November 25 , 2016.
11. Ma, X. “Public Health Insurance System Reform in China,” 28th International Symposium on “Social Security System and Related Industry Development in China and Japan”, Japan Research Center, Fudan University, Shanghai, China, November 5, 2016.
12. Ma, X. “Industrial Segregation and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in China”, European/UK Chinese Economics Association Annual Meeting, University of Duisburg-Essen, Duisburg, Germany, September1-3,2016.
13. Ma, X. “Industrial Segregation and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in China” 14th European Association of Comparative Economic Studies (EACES) Annual Meeting, University of Regensburg, Regensburg, Germany, September8-10, 2016.
14. Ma, X. and Li, S. “Minimum Wage and Income Inequality in Urban China: Evidences from CHIPS Data,” International Workshop on Empirical Studies based on CHIPS data, Beijing Normal University, May8, 2016.
15. 馬欣欣「中国における公的医療保険制度の改革とその問題」日本社会保障研究会、日本女子大学、2016 年 4 月 23 日。
16. 馬欣欣「中国における社会保障制度改革の現状と問題」在日本中国人教授会 2016 年中国経済新春座談会、2016 年 1 月 7 日、一橋大学経済研究所。
17. Ma, X. “Ownership Reform of SOE and Wage Differentials in China’s Public and Private Sectors during Economic Transition” International Symposium on Economic Transition and Income Inequality in China, 京都大学総合研究 2 号館第 2 会議室、2015 年 11 月 29 日。
18. 馬欣欣「中国都市部における所得格差と主観的幸福度」中国経済経営学会、龍谷大学、2015 年 11 月 6 日。

19. Ma, X. “Determinants of Wage Differentials between Public and Private Sectors in China under Economic Transition” The 6th Biennial Conference on Transition and Economic Development (TED), Fudan University, Shanghai, China, September 5- 6, 2015.
20. Ma, X. “Changes of Wage Structures and Wage Differentials in China’s Public and Private Sectors during Economic Transition”, First World Congress of Comparative Economics, Rome, Italy, June 25, 2016.
21. 馬欣欣・乾友彦「正規社員が管理職になる決定要因およびその男女間の格差—従業員と企業のマッチングデータに基づく実証分析—」日本経済学会、新潟大学、2015年5月23日。
22. Ma, X. and Li, S. “Impact of Minimum Wage on Gender Wage Differentials in Urban China”, American Economic Association (AEA) 2015 Annual Meeting, Boston, U.S. January 4, 2016.
23. Ma, X. (2013) “Changes in Wage Structure and Wage Differentials in China’s Public and Private Sectors during Economic Transition: a Comparison of 1995 and 2007,” Ninth Annual Conference of the Asia-Pacific Economic Association, Osaka University, Japan, July 27-28, 2013.
24. 馬欣欣(2013)「中国における国有部門と非国有部門間の賃金格差の決定要因」2103年アジア政経学会全国大会、立教大学、2013年6月15日。
25. 馬欣欣(2013)「中国における自営業者と雇用者間の賃金格差と自営業就業の選択」2103年中国経済学会全国大会、京都大学、2013年6月22日。
26. 馬欣欣(2013)「中国都市部における自営業就業の決定要因—雇用者と自営業者間の賃金格差の影響について」2103年日本経済学会秋季大会、神奈川大学、2013年9月15日。
27. 馬欣欣(2013)「中国都市部における所得格差と健康格差」2013年日本医療経済学会、学習院大学、2013年9月28日。
28. 馬欣欣「中国における所得格差と健康格差—CHIP2008の個票データを用いた実証研究」比較経済学会第11回秋期大会、大阪大学、2012年10月22日。
29. 馬欣欣・小野晶子等(2012)「高齢者の社会貢献活動の分析:就業、収入、健康、満足度、地域の視点から」日本NPO学会第14回年次大会、広島市立大学、2012年3月18日、共同報

告。

30. 馬欣欣(2011)「日本高齢者の仕事満足度およびその離職意向に与える影響」2011年日本労務学会第41回全国大会、明治大学、2011年6月25日。
31. 馬欣欣(2011)「教育訓練が高齢者の賃金に与える影響に関する実証分析」2011年日本労使関係研究協会研究会、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構、2011年6月18日。
32. 馬欣欣(2011)「中国労働市場の多重構造とルイスの転換点」2011年中国経済学会全国大会パネル討論、日本大学、2011年6月19日。
33. 馬欣欣(2010)「長時間労働は日本雇用者の仕事満足度を低下させるか—正規雇用者と非正規雇用者の比較」2010年日本労使関係研究協会研究会、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構、2010年6月26日。
34. 馬欣欣(2010)「中国における国有企業と非国有企業の賃金格差およびその決定要因」2010年中国経済学会全国大会、名古屋大学、2010年6月19日。
35. 馬欣欣(2010)「長時間労働と日本雇用者の仕事満足度に関する実証分析」2010年日本労務学会全国大会、神戸大学、2010年8月1日。
36. 馬欣欣・乾友彦(2010)「中国企業の技術効率およびその決定要因に関する実証分析」2010年日本経済学会春季大会、千葉大学、2010年6月6日、共同報告。
37. 馬欣欣(2009)「長時間労働は労働者のメンタルヘルス問題をもたらすか—KHPSを用いたパネルデータの分析」2009年日本経済学会春季大会、京都大学、2010年6月6日。
38. 南亮進・馬欣欣(2009)「中国経済の転換点：日本との比較」2009年中国経済学会全国大会大阪市立大学、2009年6月21日、共同報馬欣欣(2009)「賃金分布からみた日本の男女間賃金格差」2009年日本労務学会全国大会、東北福祉大学、2009年8月1日。
39. 馬欣欣(2009)「産業が中国における出稼ぎ労働者と都市労働者の賃金格差に与える影響」2009年日本経済学会秋季大会、専修大学、2009年10月11日。

40. 馬欣欣・村上直樹(2009)「中国アウトソーシング企業における業務実施の阻害要因に関する実証分析」2009年中国経済学会関東部会、日本大学、2009年4月3日、共同報告。
41. 馬欣欣(2008)「中国における雇用調整と再就職後の賃金の男女格差」2008年中国経済学会関東部会、東京学芸大学、2008年6月21日。
42. 馬欣欣(2008)「正規と非正規の就業形態の選択およびその賃金格差に関する日中比較」2008年度日本労務学会関東部会、早稲田大学、2008年4月19日。
43. 馬欣欣(2008)「正規と非正規の就業形態の選択およびその賃金格差に関する日中比較」2008年日本経済学会春季大会、東北大学、2008年5月31日。
44. 馬欣欣(2008)「正規と非正規の就業形態の選択およびその賃金格差に関する日中比較」2008年日本労務学会全国大会、立教大学、2008年8月2日。
45. 馬欣欣(2007)「夫の労働時間と世帯のワーク・ライフ・バランス―家計時間配分に関するパネルデータの分析」2007年日本経済学会春季大会、大阪学院大学、2007年6月2日。
46. 馬欣欣(2007)「企業所有制の改革と中国における賃金構造の変化―年功賃金の規定要因に関する実証分析」2007年中国経済学会全国大会、城西大学、2007年6月16日。
47. 馬欣欣(2007)「中国におけるレイオフ失業と再就職後の賃金における女性のペナルティー」2007年度日本労使関係研究協会研究会、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構、2007年6月23日。
48. 馬欣欣(2007)「中国都市部における正規・非正規の就業形態とその賃金格差の規定要因」2007年度日本経済学会秋季大会、日本大学、2007年9月23日。
49. 馬欣欣(2006)「職業が男女間賃金格差に及ぼす影響の日中比較」2006年日本経済学会春季大会、福島大学、2006年6月3日。
50. 馬欣欣(2006)「性別職業分離と男女間賃金格差の日中比較」2006年中国経済学会全国大会、愛知大学、2006年6月17日。
51. 馬欣欣(2006)「日中における男女間賃金格差の差異に関する要因分解」2007年度日本労使関係研究協会研究会、(独立行政法人)労働政策研究・研修機構、2006年6月30日。

52. 馬欣欣(2005)「中国における男女別の教育の内部収益率に関する分析」2005 年中国経済学会全国大会、拓殖大学、2005 年 6 月 19 日。
53. 馬欣欣(2005)「学歴間賃金格差に関する実証分析—教育の内部収益率の日中比較」2005 年日本労務学会第 35 回全国大会、早稲田大学、2005 年 7 月 30 日。
54. 馬欣欣(2004)「中国国有企業における賃金制度の改革」2004 年日本労務学会第 34 回全国大会、九州産業大学、2004 年 6 月 4 日。

競争資金取得

(国際は国際共同研究を示す)

1. 日本学術振興会平成 30～34 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究 B
研究分担者:馬 欣欣 (研究代表者:日本社会事業大学 金子能宏)
研究課題:縦断調査と横断面調査に基づく自営業者・被雇用者の生活・就業実態と社会保障の研究
2. 日本学術振興会平成 29～32 年度二国間共同事業共同研究 **(国際)**
研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:年金シニアプラン総合研究機構 高山 憲之)
研究課題:Pension Reform in the PRC: Searching for a New Framework Based on Japanese Experiences
3. 平成 29 年度一橋大学経済研究所 戦略推進プロジェクト **(国際)**
研究代表者:馬欣欣
研究課題:大学定員増加政策が中国の教育収益率に与える影響:2002—2013
4. 平成 29 年度一橋大学経済研究所 共同利用・共同研究拠点事業 **(国際)**
研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:中国社会科学院経済研究所 Quheng Deng)
研究課題:The Effect of Housing Wealth on Labor Participation: Evidence from China
5. 平成 28 年度一橋大学経済研究所 共同利用・共同研究拠点事業 **(国際)**
研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:北京師範大学 Shi Li)

研究課題: Informal Sector and Income Inequality in Urban China

6. 日本学術振興会平成 28～30 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究 C (国際)

課題番号:16K03611

研究代表者:馬欣欣

研究課題:最低賃金が中国出稼ぎ労働者と都市戸籍住民間の賃金格差に与える影響に関する調査研究

7. 厚生労働科学研究費補助金平成28 年度(地球規模保健課題推進のための行政施策に関する研究事業) (国際)

課題番号:H27-地球規模-一般-001

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:国立社会保障・人口問題研究所 鈴木 透)

研究課題:東アジア、ASEAN諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究

8. 京都大学教育研究振興財団平成 27 年度助成事業—研究成果物刊行助成

研究代表者:馬 欣欣

刊行物の名称:『中国の公的医療保険制度の改革:制度的・実証的研究』

出版社:京都大学学術出版会

出版日:2015 年 11 月

9. 厚生労働科学研究費補助金平成 27 年度(地球規模保健課題推進のための行政施策に関する研究事業) (国際)

課題番号:H27-地球規模-一般-001

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:国立社会保障・人口問題研究所 鈴木 透)

研究課題:東アジア、ASEAN諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究

10. 日本学術振興会平成 26～28 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究C

課題番号:25243006

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:京都大学 柿原 浩明)

研究課題:医師・薬剤師・患者の医薬品の選択行動に関する実証研究

11. 日本学術振興会平成 25～27 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究 C (国際)

課題番号:25380297

研究代表者:馬欣欣

研究課題:体制移行期の中国における国有と非国有部門間の賃金格差に関する制度的・
実証的研究

12. 日本学術振興会平成 25～27 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤
研究 A

課題番号:25243006

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:神戸大学 加藤 弘之)

研究課題:中国の経済システムの持続可能性に関する実証的研究:「二重の罟」を超えて

13. 厚生労働科学研究費補助金平成 26 年度(地球規模保健課題推進のための行政施策に関
する研究事業) (国際)

課題番号:CH2 4 一地球規模—一般—003

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:国立社会保障・人口問題研究所 鈴木 透)

研究課題:東アジア低出生力国における人口高齢化の展望と対策に関する国際比較研究

14. 厚生労働科学研究費補助金平成 25 年度(地球規模保健課題推進のための行政施策に関
する研究事業) (国際)

課題番号:CH2 4 一地球規模—一般—003

研究分担者:馬欣欣 (研究代表者:国立社会保障・人口問題研究所 鈴木 透)

研究課題:東アジア低出生力国における人口高齢化の展望と対策に関する国際比較研究

15. 2010年(平成22年)慶應義塾大学産業研究所研究成果物出版助成

研究代表者:馬 欣欣

刊行物の名称:『中国女性の就業行動:「市場化」と都市労働市場の変容』

出版社:慶應義塾大学出版会

出版日:2011 年 3 月